

アンケート総括

- 部活動の地域移行の受け皿となることについて、半数が肯定的な意見

☞ ただし・・・①指導者報酬等に係る財源の確保
②活動場所の確保
③移動手段の確保
が課題

- 一方で、「専門的な指導が困難」・「受け皿として十分に育成されていない」といった理由により、否定的な意見も4割

☞ 具体的には・・・

- ①専門的な指導は難しい
- ②現在の“部活動指導員（5人）”の積極的展開や“外部指導者（6人）”の業務内容の拡充を含めた学校教育制度の改革が必要

部活動指導員

- ・身分は市会計年度任用職員
- ・顧問である教職員と同様の業務が可能
（大会引率・保護者対応など）
- ・公務災害の対象

部活動外部指導者

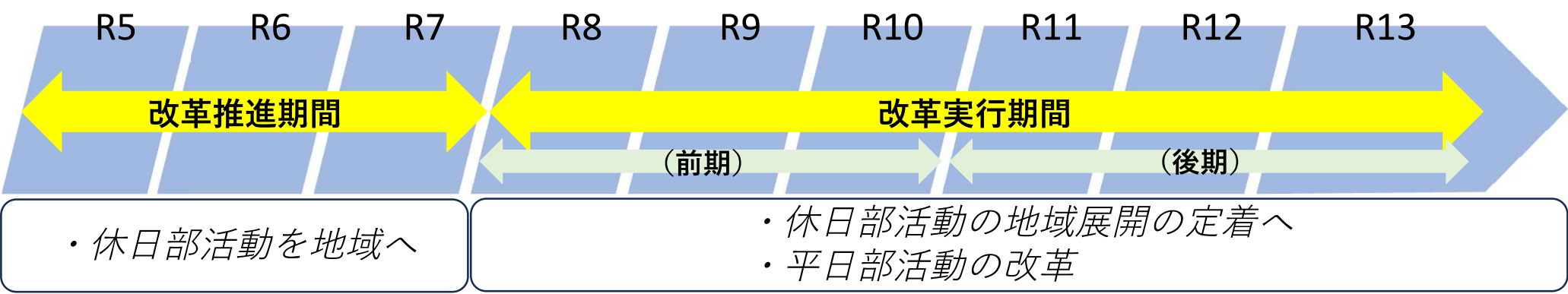
- ・有償ボランティア
- ・業務内容はあくまでも技術指導のみ
- ・怪我等はスポーツ安全保険で対応

■地域移行に関する国の動向について

【地域全体で連携して行う取組に関する名称の整理】

現行	見直し
「 <u>地域移行</u> 」 ※学校部活動から地域クラブ活動への転換	「 <u>地域展開</u> 」
「 <u>地域連携</u> 」 ※学校部活動における部活動指導員等の配置や合同部活動等の実施	「 <u>地域連携</u> 」 (変更なし)

※「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」の中間とりまとめ結果（令和6年12月2日）から抜粋



■今後の市の方向性について

これまでの協議会の協議結果、児童生徒・保護者・教員アンケート、団体（受け皿）アンケート、今後の国の動向を踏まえた結果、次のとおり進めていく。

①並行稼働により、“石狩市版”の持続可能な制度を引き続き検討する。

【部活動の継続】

《拠点校方式の導入に向けた実証》

新年度から、複数種目で拠点校方式を実施し、課題など検証する（実証）。

○懸案事項

- ・ 指定校変更理由の整理
- ・ 移動方法
- ・ 保護者負担のあり方 など

【地域クラブへの試験的移行の検討】

《地域クラブでの活動の検討》

実施可能団体を募集し、個別協議をするとともに、実施に向けた課題整理を行う。

○懸案事項

- ・ 公的支援の検討（財源・場所）
- ・ 事故発生時の補償スキーム整理
- ・ 指導者の報酬
- ・ 移動方法
- ・ 保護者負担のあり方 など

②本協議会を継続し、上記①の拠点校方式の実証や地域クラブ活動の結果を踏まえ、引き続き、本市が目指す「地域展開・地域連携」を協議する。